

第6回 町長定例記者会見 結果

- 開催日時 平成27年9月2日(水) 午前10時00～
- 開催場所 遠軽町役場2階応接室
- 記者数 4人

報道機関の皆様におかれましては、日頃より町政など地域の情報を町民にお届けいただき、心からお礼申し上げます。それでは、本日の案件につきましてご説明申し上げます。

■9月定例町議会の議案から

9月7日から遠軽町議会定例会が開会されます。議案の中から、主なものについてご説明申し上げます。

・遠軽町旭川医科大学医師養成確保修学資金貸付制度の創設について

地方で勤務する医師の中には、臨床研修を実施した病院を勤務先として選択する研修医が多いことから、地域への医師定着を促す上で、臨床研修の段階から地方の現場を体験し、その重要性を認識してもらうことが、医師確保に大きな効果が期待されます。このことから、長期的な医師確保対策として、旭川医科大学の学生を対象に「遠軽厚生病院での初期臨床研修」及び「遠軽厚生病院または旭川医科大学病院での後期臨床研修」を行うことを条件に、月額5万円の貸付金の返還を免除とした修学資金貸付制度を創設し、地域医療に貢献する医師の養成と確保を図るものであります。

・遠軽町奨学資金貸付基金条例の一部改正について

これは、本町奨学資金の償還免除でありまして、本町奨学資金の貸付を受けている者で、医師及び看護師として町内の医療機関に一定期間勤務する者に対し、奨学資金の償還を免除することにより、町内で勤務する医師及び看護師の確保を図るものであります。

・補正予算について

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金の上乗せ交付金についてです。交付金事業については、今年3月、議会で補正予算が議決され、事業を行っておりますが、このたび、交付金の上乗せ交付を受け、事業を追加します。

まず、遠軽町・湧別町・佐呂間町以外から遠軽高校に進学した生徒で、町内に下宿している生徒や通学している生徒の負担を軽減し、生徒の確保と、将来、遠軽町を担う人材の育成を図るため、助成事業を実施したいと考えております。

また、鳥獣の捕獲に従事するハンターなどの担い手が減少し、高齢化が進んでいるため、狩猟免許の取得等に係る経費、及び捕獲技術を習得するための経費を助成することにより、担い手の育成を図りたいと考えております。

このほか、(仮称)遠軽豊里インターチェンジ周辺施設整備のため、ほかの道の駅を視察する経費、健康管理システムを導入する経費などを提案いたします。

■遠軽厚生病院産婦人科について

遠軽厚生病院産婦人科の存続に向けての取り組みは、遠軽厚生病院から産婦人科医師引き揚げについての説明を受けた直後から、遠紋2次医療圏の市町村長で、北海道及び関係機関等への要請活動を行うことを決定して、旭川医科大学産婦人科教授、北海道厚生連会長及び北海道知事に対し要望を行ってまいりました。

また、地元の自衛隊員及びその家族が通院している同病院の実情を訴えるとともに、防衛

省が所管する医療機関等からの応援も要請するために、北海道防衛局及び北部方面総監部にも要望活動を実施し、要望書の提出を行いました。

その後、地元選出代議士にも協力要請を行い、厚生労働大臣及び防衛事務次官等に直接説明する機会を得まして、地域の実情を理解していただくとともに、遠軽地区総合開発期成会及びオホーツク活性化期成会でも同様の要望活動を行ってまいりました。

このほか、遠軽町自治会連絡協議会、遠軽町議会、遠軽商工会議所、えんがる商工会と連携して、産婦人科の存続と産婦人科主任部長である副院長の慰留の要望を行いました。この要望には、町自治会をはじめとする遠軽地区3町の住民の皆様も署名活動に取り組んでいただき、合計で25,704人の署名を添えて要望活動が行われました。このことは、過去、同様の事案の際には見られなかったことで、地域住民が危機感を持って取り組んでいただいたことでありまして、地域住民の方々にも感謝を申し上げたいと思います。

さらに、湧別町長とともに東京都内の病院に対して医師派遣要請を行ってまいりました。残念ながら今回は派遣に結びつきませんでした。今後もさまざまなつながりを大切にしながら、産婦人科医の配置について取り組んでまいります。

本年9月末をもって、残念ながら遠軽厚生病院では、出産が困難な状態となりましたが、10月以降は毎月第2週及び第4週の火曜日と水曜日に、旭川医科大学から出張医が来て、妊婦健診は行われる見通しとなっております。予定では妊娠32週まで遠軽厚生病院で健診を行い、その後出産できる病院を紹介するというようになっております。

本町としましても、遠軽厚生病院に対して、また、厚生連本部に対しましても、現在通院している妊婦の不安を解消するため、転院先の確保と紹介を、責任を持って行うよう要請したところであります。

また、今後につきましては、通院経費の助成等を行うとともに、引き続き医師確保について取り組み、現在の医療制度改正と合わせて、国、道、関係機関等に対して、さまざまな機会に要望活動を行ってまいります。

■子育て支援えんがるプレミアム付商品券の発行について

ことし4月に国の交付金事業で実施したリフォーム建設券発行事業の結果を受けまして、子育て世帯の支援に絞ってプレミアム付商品券が発行されます。

対象は、18歳以下のお子さんを扶養している世帯で、お子さん1人につき、20%のプレミアムが付いた、額面1万2千円の商品券を1万円で5セットまで購入できるものとなります。販売総額は1億9,326万円で、このうち、プレミアム分は3,221万円となります。

遠軽地域は遠軽商工会議所が、生田原・丸瀬布・白滝地域はえんがる商工会が発行し、使用期間は10月1日から来年の1月31日までです。

子育て世帯の負担軽減とともに、地元消費につながるものと期待しているところであります。

■福祉センターの建て替えについて

福祉センターの建て替えについては、コミュニティ駐車場周辺を建設予定地として、現在、用地買収に向けて補償算定業務を行っているところであります。

■地域おこし協力隊員の着任について

募集を行ってまいりました地域おこし協力隊員3人のうち、1人の採用を決定し、8月に着任いたしました。

このたびの協力隊員は、神奈川県出身の江村徳義（えむらのりよし）さんで、白滝地域に居住し、主にジオパークをはじめとする自然保護活動に従事します。

白滝ジオパークは来年、再審査を控えていることもあり、これに向けて活躍を期待してお

ります。

■太陽の丘えんがる公園虹のひろばコスモス園について

太陽の丘えんがる公園虹のひろばコスモス園が見ごろを迎えておりまして、8月22日からコスモスフェスタ期間に入りました。

今月12日から13日にかけては、コスモスウェディングやコンサートなどのステージイベントを開催するほか、連休にはバンド演奏会や物産まつりなどの催しが予定されています。

ぜひ、多くの皆様に満開のコスモスとイベントをお楽しみいただきたいと思います。

■合併10周年記念講演会について

11月7日に、関西学院大学の小西教授をお招きしまして、合併後のまちづくりについての講演会を開催します。

また、オホーツク管内合併市町長などによるパネルディスカッションを行います。

合併して10年、そしてこれからのまちづくりについて考える良い機会になりますので、ぜひ多くの皆様にご参加をいただきたいと思います。

■合併10周年記念NHKのど自慢について

11月15日に、NHKのど自慢が開催されます。現在、出場者と観覧者を募集しています。番組を盛り上げていただくためにも、多くの皆様にご参加をいただけたらと思います。

■JR遠軽駅開業100周年記念事業について

11月1日に、JR遠軽駅が開業から100年を迎えます。これを記念して、10月31日から2日間、遠軽商工会議所による記念イベントが行われます。

主な内容としましては、特急オホーツクの発車式や写真展、露店やフリーマーケット、遊具の設置のほか、岡村べんとう屋さんのかにめしが、各日100個限定で復刻いたします。

交通の要衝として発展した遠軽町の顔ともいえる、遠軽駅の100周年を皆さんで祝っていただきたいと思います。